

YOKOGAWAの制御事業 — ソリューション・サービス・ビジネスについて —



2014年10月31日
代表取締役社長 西島 剛志

1. FY14 経営状況 P.2～

- ① FY14 業績・配当予想について
- ② 取り組むべき課題と対応方針
- ③ 収益性改善に向けた取り組みの強化

2. YOKOGAWAの制御事業 P.5～ －ソリューション・サービス・ビジネスについて－

- ① これまでのビジネスモデルとYOKOGAWAのソリューション
- ② 国内市場・海外市場 フェーズとポジションの違い
- ③ 垂直・水平展開
- ④ YOKOGAWAの強み

1. FY14 経営状況

① FY14 業績・配当予想について

(億円)

<FY14業績予想>		FY13 実績	FY14 予想	差 異	増減率
受 注 高		4,060	4,170	110	2.7%
売 上 高		3,885	4,000	115	3.0%
営 業 利 益		259	280	21	8.1%
経 常 利 益		257	260	3	1.2%
当 期 純 利 益		123	140 → 未定	-	-
為 替 レ - ト	1\$= 1€=	100.67円 135.24円	100.00円 135.00円	-0.67円 -0.24円	▲0.1% ▲0.2%

<FY14配当予想>

中間	期末	年間
6 円	6 円 → 未定	未定

当期純利益・期末配当予想については、希望退職関連の特別損失の計上額が現時点で合理的に見積れないため、当初の予想をそれぞれ「未定」に修正

② 取り組むべき課題と対応方針

- ・グローバル競争の激化
- ・国内の市場構造の急激な変化
- ・制御事業自体の構造変化



目指す収益性の確保が厳しい状況

2つの課題

- ・市場構造の変化を上回るスピードで事業構造の変革が必要
- ・為替効果を除いた実質成長が必要

2つの方針で対応

1. 成長戦略の加速

- 1-1. ソリューション・サービス・ビジネスの
ビジネスモデル構築と拡大
- 1-2. 注力業種向け製品ポートフォリオの拡充
- 1-3. リソースの海外への投入(海外先行投資の継続)

2. 収益性改善に向けた取り組みの強化

- 2-1. 国内のビジネスコスト削減
- 2-2. コスト競争力の強化 (特に国内生産コスト)
- 2-3. グローバル全体最適実現による効率向上

③ 収益性改善に向けた取り組みの強化

2-1. 国内のビジネスコスト削減

■ 現在の機能や業務プロセスの見直し、構えの適正化



希望退職

2-2. コスト競争力の強化

■ 国内主力工場の生産性向上への取り組み加速

2-3. グローバル全体最適実現による効率向上

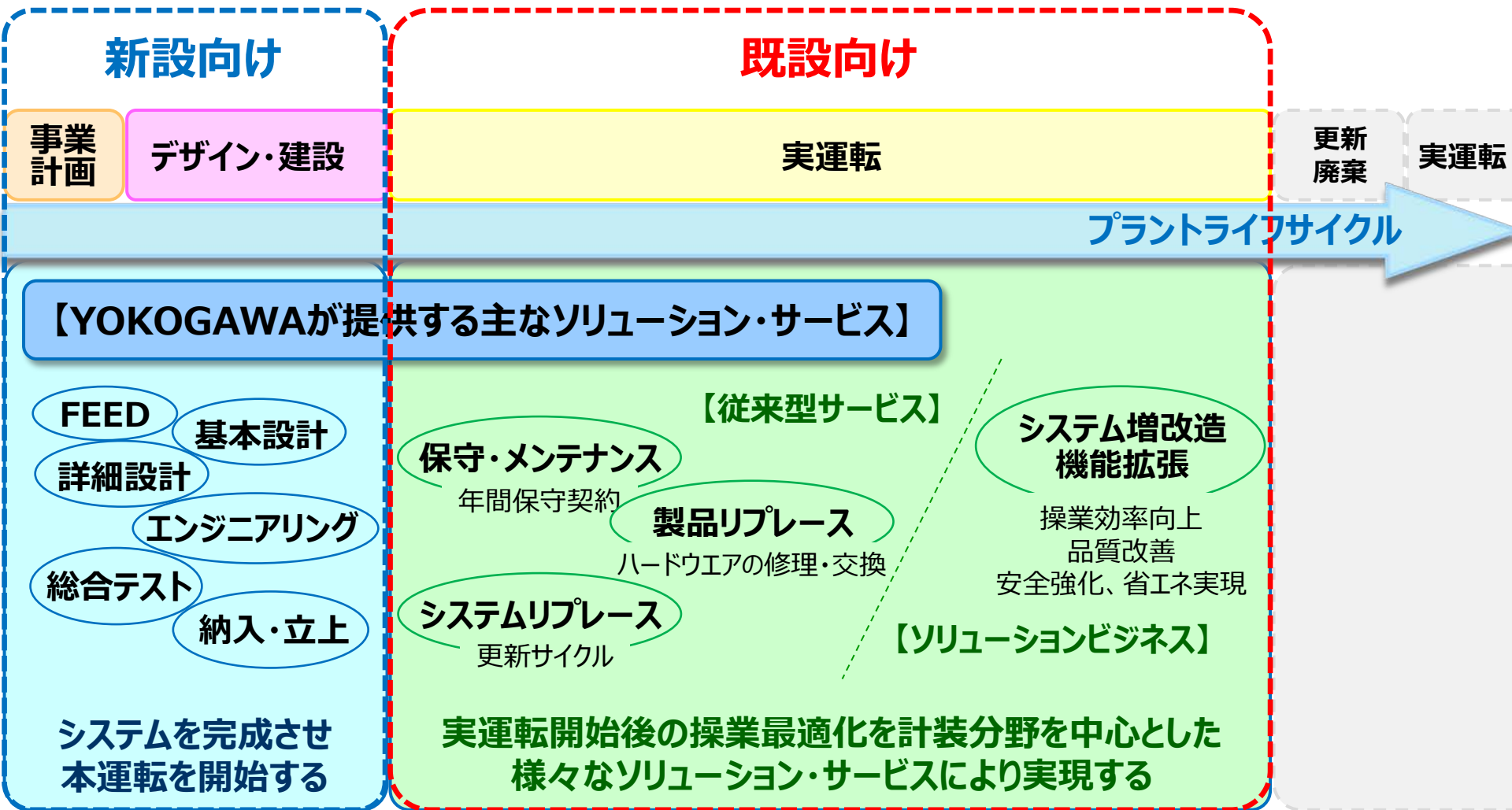
- グローバルでの調達コスト削減への取り組み強化
- エンジニアリングリソースのグローバルでの有効活用を拡大



持続的な成長を実現

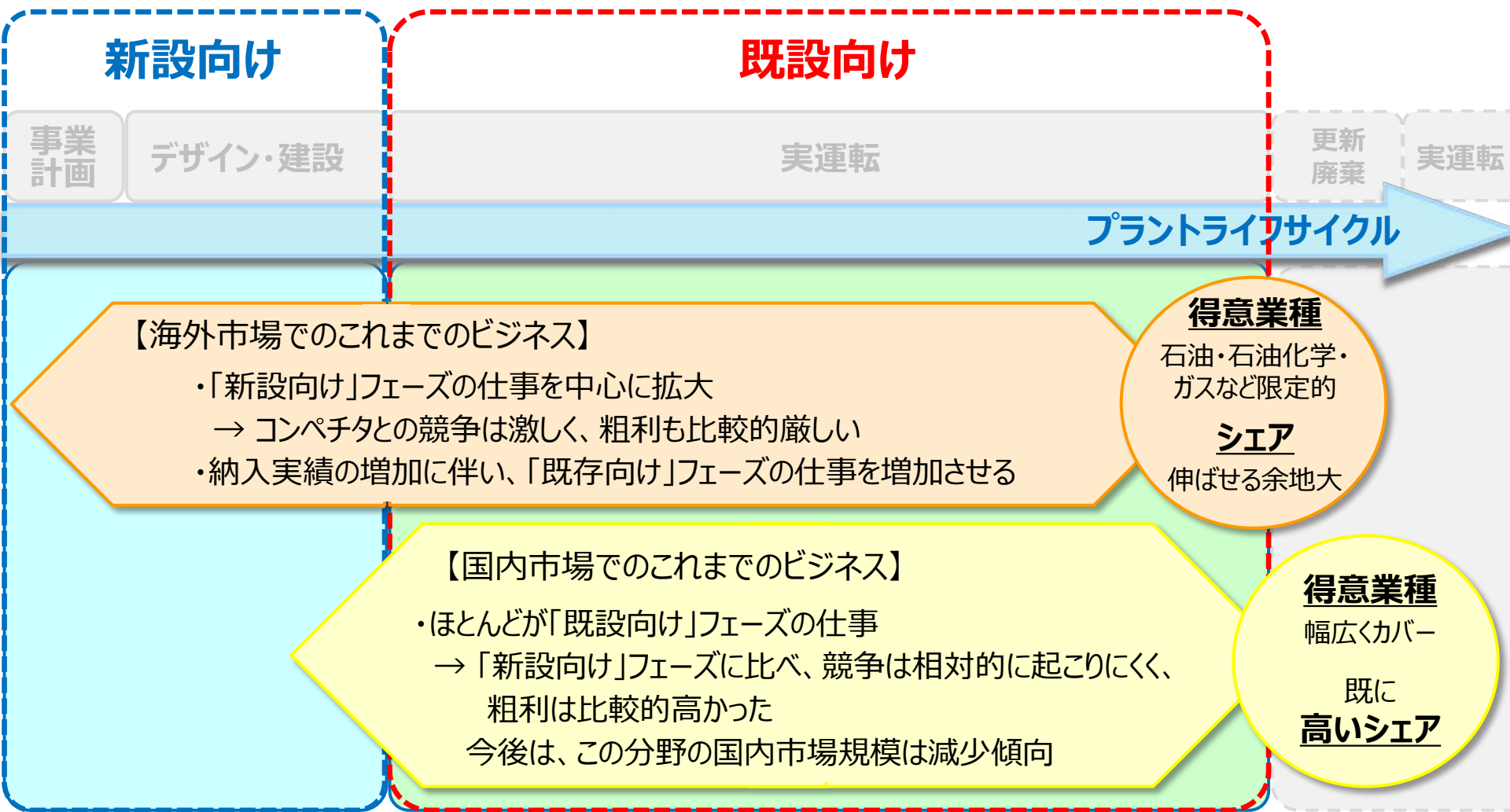
2. YOKOGAWAの制御事業 - ソリューション・サービス・ビジネスについて -

① これまでのビジネスモデルとYOKOGAWAのソリューション・サービス・ビジネス



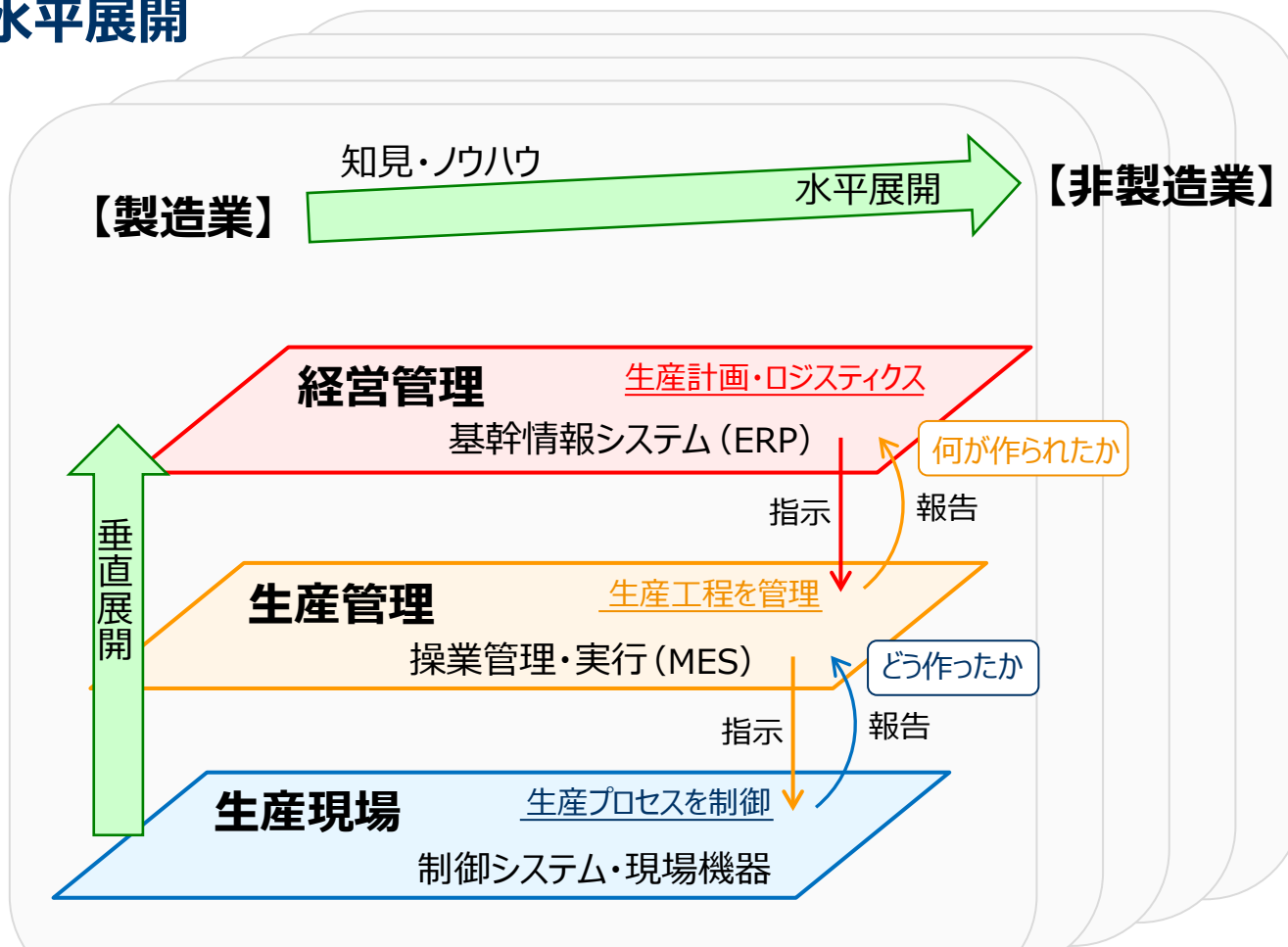
2. YOKOGAWAの制御事業 ーソリューション・サービス・ビジネスについてー

② 国内市場・海外市場 フェーズとポジションの違い



2. YOKOGAWAの制御事業 —ソリューション・サービス・ビジネスについて—

③ 垂直・水平展開

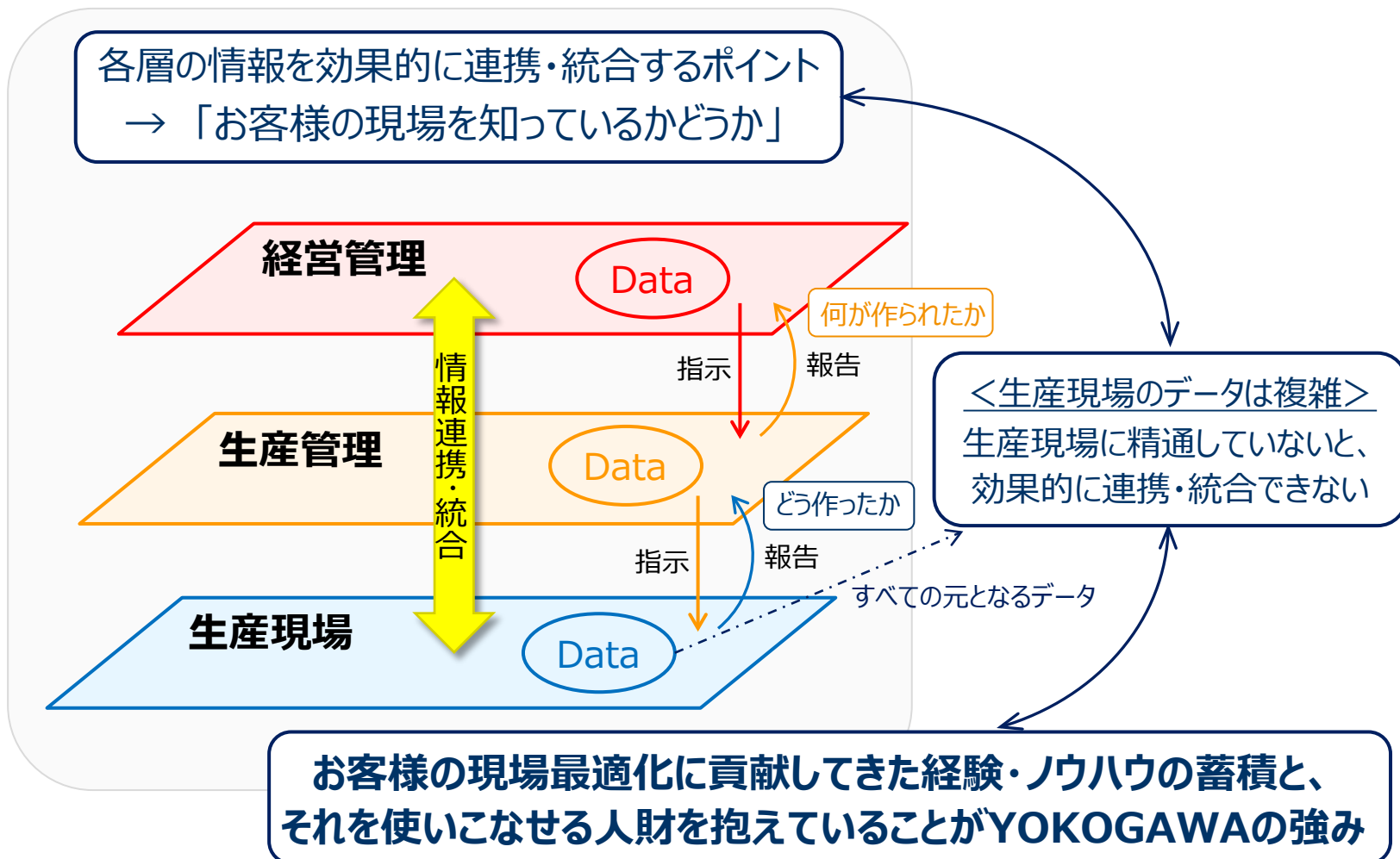


企業を取り巻く環境は、複雑さを増しながら
その変化のスピードを速めている

各層内・層間の情報連携・統合による
迅速、柔軟かつ効率的な事業活動への要求の高まり

2. YOKOGAWAの制御事業 - ソリューション・サービス・ビジネスについて -

④ YOKOGAWAの強み



本資料およびアナリスト説明会で提供する情報のうち業績見通し及び事業計画等に関するものは、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいております。従って、実際の業績は、様々な要因により、これらの見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。

